



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 WASHハウス株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 6537 URL http://www.wash-house.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児玉 康孝
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 阿久津 浩 (TEL) (0985)78-4001
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	943	△8.2	△118	—	△110	—	△114	—
2019年12月期第2四半期	1,027	—	△97	—	△95	—	△74	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △113百万円(—%) 2019年12月期第2四半期 △74百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△16.61	—
2019年12月期第2四半期	△10.85	—

(注) 1. 当社は、2018年12月期第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期第2四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,685	1,879	49.3
2019年12月期	3,536	1,986	56.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,815百万円 2019年12月期 1,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期の連結業績予想につきましては、未定とさせていただきます。開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。詳細につきましては、2020年8月7日に開示いたしました、「2020年12月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	6,886,200株	2019年12月期	6,881,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	一株	2019年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	6,881,742株	2019年12月期2Q	6,868,857株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による継続的な各種経済政策を背景とした、企業収益の拡大や雇用環境の改善など、緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による内外経済の停滞や縮小により、極めて厳しい状態となっております。

当社グループのコインランドリー事業を取り巻く環境といたしましては、多様な働き方が選択できる労働環境の整備が進む中、時間を有効活用できるコインランドリーは、利用者層の拡大と需要の伸長が期待されております。

このような状況の下、当社グループは、コインランドリーを利用する利点を普及する目的として、「布団は洗う」という洗濯習慣への啓蒙活動、並びに新たな利用者数の拡大を図る積極的な広告施策をあわせて実行し「プラットフォームとしてのコインランドリー事業」の強化を進めるなか、日本国内の店舗展開として、既存エリア及び新規エリアでの営業活動に加え、フランチャイズ（以下、「FC」という）オーナーの新規開拓も行いながら、FC店舗の出店を中心に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間のFC店舗の新規出店数は9店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は943,769千円（前年同四半期比8.2%減）となり、営業損失は118,974千円（前年同四半期は97,828千円の営業損失）、経常損失は110,278千円（前年同四半期は95,203千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は114,331千円（前年同四半期は74,559千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントの情報を省略しております。なお、コインランドリー事業における主要な部門別の業績は次のとおりであります。

① FC部門

当第2四半期連結累計期間におけるFC店舗数の推移は以下のとおりであります。

FC新規出店数は9店舗となった結果、売上高は166,951千円（前年同四半期比46.9%減）となりました。

（単位：店舗）

エリア	2019年12月31日 現在のFC店舗数	期中増減	2020年6月30日 現在のFC店舗数
関東エリア	41	(注) 1	42
中部エリア	11	0	11
関西エリア	25	1	26
中国エリア	60	2	62
四国エリア	22	1	23
九州エリア	412	(注) △1	411
合計	571	4	575

(注) 当第2四半期連結累計期間において、関東エリアでは3店舗を新規出店しましたが、既存FC店舗のうち、1店舗を直営店とし、1店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減は1店舗の増加となっております。また、九州エリアでは2店舗を新規出店しましたが、既存FC店舗のうち2店舗を直営店とし、1店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減は1店舗の減少となっております。

② 店舗管理部門

当社はすべてのFC店舗についてコインランドリー店舗の管理を受託しており、ストック収入となることから店舗増が寄与し、売上高は517,737千円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

③ 直営部門その他

当第2四半期連結累計期間の直営店舗数は前年同四半期比で18店舗増加し52店舗となっております。

以上の結果、売上高は259,080千円（前年同四半期比22.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ148,273千円増加の3,685,211千円となりました。これは主に、流動資産の営業貸付金が132,821千円、有形固定資産の建物が44,936千円、その他有形固定資産が206,843千円、無形固定資産が27,550千円増加した一方で、流動資産の現金及び預金が179,434千円、売掛金が87,425千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ255,574千円増加の1,805,572千円となりました。これは主に、新規借入をおこなったため、流動負債の短期借入金が176,000千円、固定負債の長期借入金が166,600千円増加した一方で、流動負債の預り金が63,885千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ107,300千円減少の1,879,639千円となりました。これは、剰余金の配当55,048千円、親会社株主に帰属する四半期純損失114,331千円の計上があったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、179,434千円減少し1,076,287千円となりました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、223,635千円（前年同四半期は797,640千円の支出）となりました。これは主に、仕入債務の減少が41,001千円、預り金の減少が63,885千円、営業貸付金の増加が132,821千円計上されたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、312,155千円（前年同四半期は234,303千円の支出）となりました。これは主に、預り保証金の受入による収入が27,023千円あった一方で、主に洗剤工場建設、直営店出店に係る有形固定資産の取得による支出が291,077千円計上されたこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、356,615千円（前年同四半期は69,317千円の支出）となりました。これは主に、短期借入れによる収入が176,000千円、長期借入れによる収入が200,000千円、連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込による収入が60,440千円あった一方で、配当金の支払額が54,989千円、長期借入金の返済による支出が23,256千円計上されたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、未定とさせていただきます。開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

詳細につきましては、2020年8月7日に開示いたしました、「2020年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,722	1,076,287
売掛金	196,707	109,281
営業貸付金	461,921	594,743
たな卸資産	※1 93,358	※1 46,560
その他のたな卸資産	213,548	225,190
その他	109,735	133,586
貸倒引当金	△3,500	△5,600
流動資産合計	2,327,494	2,180,050
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	305,748	350,685
土地	182,163	182,163
その他（純額）	348,429	555,272
有形固定資産合計	836,341	1,088,121
無形固定資産	2,640	30,191
投資その他の資産	370,461	386,847
固定資産合計	1,209,443	1,505,161
資産合計	3,536,938	3,685,211
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,057	35,056
短期借入金	—	176,000
1年内返済予定の長期借入金	9,896	20,040
未払法人税等	993	13,345
預り金	421,063	357,178
賞与引当金	4,609	4,986
その他	188,798	163,243
流動負債合計	701,418	769,849
固定負債		
長期借入金	—	166,600
預り保証金	809,721	822,364
資産除去債務	23,645	27,653
その他	15,212	19,105
固定負債合計	848,579	1,035,723
負債合計	1,549,998	1,805,572

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,307	995,610
資本剰余金	925,307	925,610
利益剰余金	63,209	△106,169
株主資本合計	1,983,825	1,815,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△825	△30
為替換算調整勘定	209	784
その他の包括利益累計額合計	△616	753
非支配株主持分	3,730	63,833
純資産合計	1,986,939	1,879,639
負債純資産合計	3,536,938	3,685,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,027,729	943,769
売上原価	669,900	640,580
売上総利益	357,829	303,189
販売費及び一般管理費	455,657	422,164
営業損失(△)	△97,828	△118,974
営業外収益		
受取利息及び配当金	360	327
預り保証金精算益	—	7,000
その他	3,698	4,488
営業外収益合計	4,059	11,816
営業外費用		
支払利息	393	532
投資有価証券評価損	—	1,146
その他	1,040	1,441
営業外費用合計	1,433	3,120
経常損失(△)	△95,203	△110,278
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,203	△110,278
法人税、住民税及び事業税	1,973	4,485
法人税等調整額	△22,617	228
法人税等合計	△20,643	4,713
四半期純損失(△)	△74,559	△114,991
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△660
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△74,559	△114,331

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△74,559	△114,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	795
為替換算調整勘定	—	896
その他の包括利益合計	30	1,692
四半期包括利益	△74,528	△113,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,528	△112,961
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△337

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,203	△110,278
減価償却費	34,169	45,710
預り保証金精算益	—	△7,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	2,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△240	377
受取利息及び受取配当金	△360	△327
支払利息	393	532
売上債権の増減額(△は増加)	33,949	87,425
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,146
営業貸付金の増減額(△は増加)	△130,994	△132,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78,700	35,155
仕入債務の増減額(△は減少)	△316,324	△41,001
預り金の増減額(△は減少)	△154,276	△63,885
その他	△96,070	△43,912
小計	△803,658	△226,778
利息及び配当金の受取額	309	276
利息の支払額	△162	△347
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	5,870	3,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	△797,640	△223,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△247,611	△291,077
無形固定資産の取得による支出	—	△30,024
敷金及び保証金の差入による支出	△10,791	△8,778
預り保証金の受入による収入	29,929	27,023
その他	△5,830	△9,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234,303	△312,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	176,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△11,950	△23,256
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込による収入	—	60,440
リース債務の返済による支出	△3,060	△2,186
新株予約権の行使による株式の発行による収入	316	606
配当金の支払額	△54,623	△54,989
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,317	356,615
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△258
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,101,262	△179,434
現金及び現金同等物の期首残高	2,591,962	1,255,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,490,699	1,076,287

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
商品	4,184千円	1,330千円
仕掛品	7 "	915 "
原材料及び貯蔵品	89,167 "	44,314 "

※2 当座貸越

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
当座貸越限度額	300,000千円	750,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	300,000千円	750,000千円

(注)2020年8月7日提出日現在では、取引銀行を1行増加し、当座貸越限度額950,000千円、借入未実行残高950,000千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループはコインランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。